

**製品名:** リン酸化 ITK (Tyr512) ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab00942

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 72 kDa; Observed MW: 72 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ITK
別名	ITK; EMT; LYK; Tyrosine-protein kinase ITK/TSK; Interleukin-2-inducible T-cell kinase; IL-2-inducible T-cell kinase; Kinase EMT; T-cell-specific kinase; Tyrosine-protein kinase Lyk
遺伝子 ID	3702
SwissProt ID	Q08881
免疫原	抗血清は、ヒト ITK の Tyr512 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 478-527

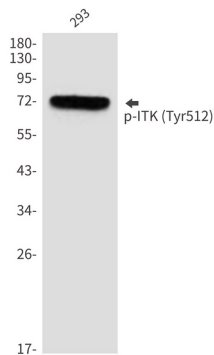
## 背景

インターロイキン-2 誘導性T細胞キナーゼ (Itk、Etk、または Tsk) は、非受容体型タンパク質チロシンキナーゼの一種です。Itkファミリーには、Tec、Btk、Rlk、Bmxが含まれ、いずれも共通の構造 (アミノ末端 PH ドメイン、Tec 相同ドメイン、SH3 および SH2 ドメイン、そしてカルボキシ末端キナーゼドメイン) によって定義されます。Tec、Rlk、Itk は T 細胞に発現し、T 細胞受容体 (TCR) への結合によって活性化されます。

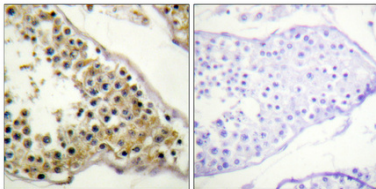
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



Phospho-ITK (Tyr512) 抗体を使用した 293 溶解物中の Phospho-ITK (Tyr512) のウェスタンプロット分析。



リン酸化 ITK (Tyr512) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。